

鶴舞大学の設定

- 規模：総合大学（教育・経済・文・法・工・医）
大学院有
- 大学の特色：研究系（教育色もあり）
- プレゼンテーションの場：若手先生勉強会

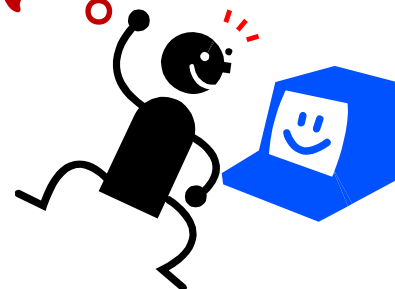


平成22年度 学術ポータル担当者研修
3班



鶴舞大学学術機関リポジトリ

無料で読める論文は、ありがたい。



- 最近google等検索エンジンから無料で読める論文を発見することがありませんか？
- 大学の電子ジャーナルリストや文献データベースで検索すると”OPEN ACCESS”と書かれた論文に行き当たることはありませんか？



SOMEONE GIVES YOU.



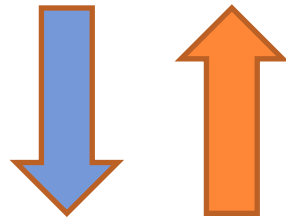
このような方法により無料で論文が読めるのは、
多くの場合

世界中の研究者が論文を自ら登録し、所属大学・
研究機関と協力して、誰もが自由に読めるしくみ
づくりに参加しているおかげです。

GIVE AND TAKE



他の研究者やその所属機関のおかげで論文が読める。

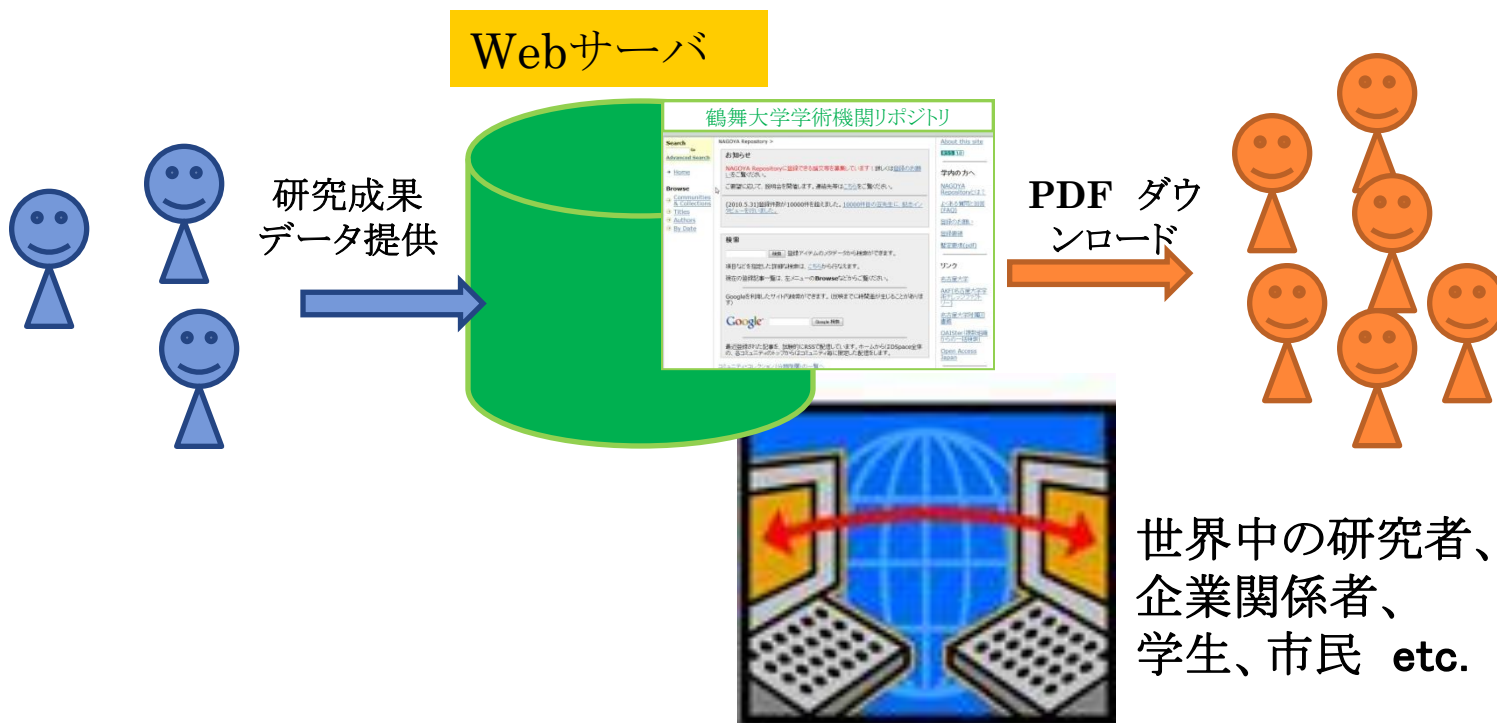


貴方もこの論文を自由に読めるしくみづくりに参加しませんか？

学術機関リポジトリ

学術機関リポジトリとは

学内で生産された研究成果を電子的に
収集・蓄積・永続的に保存し、
無料で公開するサービス



世界中の研究者、
企業関係者、
学生、市民 etc.

何を登録できる？

お手持ちのデータで、
登録したい！というものは
ありませんか？

- 紀要論文
- 学術雑誌掲載論文
- 学位論文
(博士論文, 修士論文)
- 学会発表論文
- 国際会議報告
(proceedings)
- プレプリント
- 研究報告
(ワーキングペーパー)
- 技術文書
- 調査報告
- 教材 その他



貴方自身のメリット

誰でも使えるGoogleから検索

Universal
Access

- ・ 研究成果がネット上で発見されやすくなる → 認知度がUP

高い発見率

- ・ 研究者個人のホームページよりも機関リポジトリからの発見率が高い
 - ・ 一般人・非学術雑誌購読者も読める
- ↓↓↓
- ・ 引用される可能性が高まる

もっとある 貴方自身のメリット

信頼できるサーバ

デジタル
データ化
して蓄積

- ・ 長期保管することにより過去の文献も発見される
- ・ 大学・研究機関が管理
- ・ 長期保存可能・公開の持続性

重たいデータ
はサーバに

- ・ 研究者個人のホームページからデータのURLへリンク



大学や社会にも貢献

研究者

- ・学術論文は誰のもの？
- ・研究者の努力の成果物。
- ・研究者だけでなく誰もが無料で読めるようにしよう。

皆さんがHappyになります

学術機関リポジトリ

大学

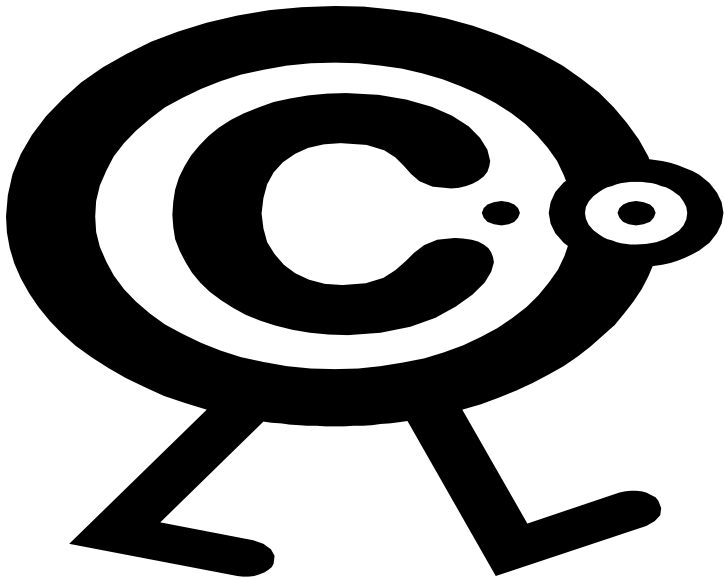
- ・教育研究成果の集積と公開
- ・社会への説明責任
- ・受験生へのPR

地域社会・納税者

- ・こんな面白いことを研究している人が〇〇大学にいるんだ。
- ・大学が身近な存在に

著作権の問題は？

- 出版社・学会との掲載許諾交渉は、
図書館が行います。
- 論文の共著者がいらっしゃる場合は、全員に同意を得てください。



登録をご希望される場合

ご協力を
よろしく
お願いします

電子メールで**原稿ファイル**を
図書館宛にお送りください。

※ 紙媒体は学内便でご送付ください。

- ・ 図書館では、出版社が学術機関リポジトリへの登録を認めているかどうかを確認し、当該論文を登録します。
- ・ 公開後は、論文ごとのアクセス件数を定期的にメールでお知らせします。